

兵庫古生物研究会 発足からの一年 [活動紹介]

兵庫古生物研究会

はじめに

昨年9月に「ひとく連携グループ」になったばかりで、今回の共生のひろばには初めての参加となります。平成27年2月に発足した出来立てはやほやの研究会です。

ことの発端は昨年9月の共生のひろばでのことです。代表の岸本が来館者の方々と話をする中で、地元兵庫県の化石産地をめぐるセミナーが殆どないこと。化石を発見した時の素晴らしい体験をより多くの方々と共有したいこと。そんな思いから有志5名で兵庫古生物研究会を立ち上げました。大学や研究員の先生方に顧問をお願いし、19名（本年1月現在）の会員で活動をしています。小学生～シニアまでの、化石採集や古生物が大好きな人たちばかりの集まりです。最近、化石採集を始めた人から30年以上も化石とつき合っている人まで様々です。男性もいれば女性もいます。家族全員で参加されているご一家もあります。以下にこの一年間の会の活動を紹介します。

第11回『共生のひろば』には、会員所蔵の化石展示で参加させていただきました。会員一人ひとりの思い出いっぱいの標本です。

2015 活動紹介

◎2015年2月 「兵庫古生物研究会」の発足

ひとく連携活動グループを視野に入れながら、有志5名で兵庫古生物研究会を発足させました。

★第1回例会（2015/3/22） [参加者7名]

『和泉層群北阿万層（淡路島）での化石調査会』

代表の岸本が自分の研究・調査のためのフィールドの一つとしている淡路島の和泉層群（白亜紀後期）での化石採集会です。初めての例会で、7名と参加者は少なかつた

ですがアンモナイトやイノセラムス（二枚貝）、スナモグリの爪などの化石を採集することができました。



☆4月定例調査（2015/4/18）

—淡路島の和泉層群北阿万層ほかー

本会では、年間に3回程度の例会（採集会や研修会など）を持ちたいと考えていますが、ここで言う「定例調査」とは、「例会」という位置づけではなく、岸本代表個人の調査・研究のための巡検に同行するという形をとっています。

☆5月定例調査（2015/5/31）

—淡路島の和泉層群北阿万層ほかー

★第2回例会（2015/6/13） [参加者5名]

『人と自然の博物館セミナー聴講「生物潜水艦 アンモナイトの謎」と収蔵庫見学』

セミナーでは、アンモナイトの殻の構造などのお話や化石のレプリカづくりをしました。



セミナー終了後、菊池先生のご案内で収蔵庫の見学をさせていただきました。

☆7月定例調査 (2015/7/26)
—淡路島の和泉層群北阿万層ほか—

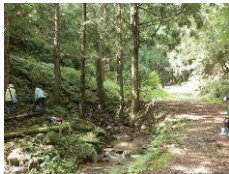


☆9月定例調査 (2015/9/13)
—淡路島の和泉層群北阿万層ほか—

★第3回例会 (2015/9/27) [参加者 10名]

『兵庫県養父市関宮での化石採集会』

この地域には新生代 新第三紀 中新世 (約 2300 万年前～約 500 万年前) の北但層群が分布しています。近くのコンビニで待ち合わせをし、車で産地の近くまで行きました。山道を歩くこと約 10 分。この地は、貝殻が溶けてしまっていて、いわゆる印象化石で特徴づけられる化石産地です。1 m 位もある岩塊を大ハンマーで割り、岩の中から化石を探しました。



☆10月定例調査 (2015/10/18)
—淡路島の和泉層群北阿万層ほか—

☆11月定例調査 (2015/11/15)
—淡路島の和泉層群北阿万層ほか—

■『古生物喫茶』 (2015/12/13) [参加者 11名]

岸本代表宅にて、同氏所蔵化石標本類の見学と解説。化石産地の情報交換や来年度の採集地検討などについての意見交換を行いました。おにぎりやサンドウィッチ、菓子類をつまみながら和気あいあいとした時間を過ごすことができました。最後にくじ引きで代表や会員から化石を頂きました。



☆1月定例調査 (2016/1/17) [参加者 12名]
—淡路島の和泉層群北阿万層ほか—



★第4回例会 (2016/2/11)

『人と自然の博物館 第11回「共生のひろば」へ参加』

連携活動グループとしての積み重ねも少ない本会ですが、化石標本の展示で第11回共生のひろばに参加しました。兵庫県内産の化石標本を展示できればよかったのですが、何しろ発足以来一年ですので、県の内外を問わず会員所蔵の「思い出の化石」を並べてみました。『腰を下ろしたとき、足先にあった化石。帰り間際の最後の一撃で見つけた化石。何回も何回も採集に行き、やっと見つけた化石。初めての採集での大物……。』 “思い出は **priceless** !”